

作物の種類		アルファルファ		468		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	草型	10個体、2反復	観察		直立	やや直 ～直立	やや直 立	中 ～や 直	中	中	中 ～や ほ	やや ほふ く	やほ ～ほ ふ	ほふ く	着蕾期における株の外周部の茎が地表となす角度により判定
2	草丈	10個体、2反復	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										開花期における地表からの高さを計測	
3	茎の太さ	10個体、2反復	測定	mm（小数第2位を四捨五入）										茎の中央部の径を計測	
4	毛茸の程度	10個体、2反復	観察		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	茎の毛茸の多少を評価	
5	開花始期	20個体、2反復	観察	年月日										個体当たり3頭花が開花した日	
6	花色	20個体、2反復	観察		白	黄白	黄	緑黄	青紫	赤紫	紫	濃紫	その他	開花直後における頭花の色調	
7	小葉長	10個体、2反復	測定	mm（小数第1位を四捨五入）										開花期における最大葉の中央小葉の長さを計測	
8	小葉幅	10個体、2反復	測定	mm（小数第1位を四捨五入）										開花期における最大葉の中央小葉の幅を計測	

作物の種類		アルファルファ		468		1次選択項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	初期の草丈	10個体、2反復	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										播種後2ヶ月以内の草丈を測定、秋播きのみ		
2	播種年の秋の草高	20個体	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										種年秋の刈取前の草高を測定、春播きのみ		
3	播種年の晩秋の草高	20個体	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										播種年秋の刈取後、晩秋に草高を測定、春播きのみ		
4	萌芽始	20個体、2反復	観察	年月日										寒地における萌芽始めを年、月、日で表示		
5	葉色	10個体、2反復	観察		淡	やや ～淡	やや 淡	中 ～や 淡	中	中 ～や 濃	やや 濃	やや 濃	濃	濃	出蕾期の葉色の濃淡	
6	さやの形	10個体、2反復	観察		鎌形	極少	少	やや 少	中	やや 多	多	より 多	極多	結莢後のサヤのらせんの巻き数(1回:少、～3回:中、～5回:多)		
7	開花期	20個体、2反復	観察	年月日										開花始めに達した個体が50%に達した日		
8	雑色花の個体頻度	50個体	観察		極少	より 少	少	やや 少	中	やや 多	多	より 多	極多	開花直後における雑色花の頭花をもつ個体の頻度		
9	黄色花の個体頻度	50個体	観察		極少	より 少	少	やや 少	中	やや 多	多	より 多	極多	開花直後における黄色、クリーム色または白色の頭花をもつ個体の頻度		
10	1000粒重	2区2反復	測定	g (小数第3位を四捨五入)										計20個体(10個体2反復)の混合精選種子を100粒4反復秤量して1000粒重に換算		
11	頭花数	2区2反復	観察		無又は極 少	より 少	少	やや 少	中	やや 多	多	より 多	極多	開花期または1番草で調査		
12	1頭花小花数	10個体、2反復	測定	mg (小数第1位を四捨五入)										20頭花のさやの純種子重を測定		
13	茎数	20個体	観察		極少	より 少	少	やや 少	中	やや 多	多	より 多	極多	開花期における茎数の多少		

作物の種類		アルファルファ		468		2次必須項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	そばかす病抵抗性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	病害発生時葉の病斑の多少により評価
2	パーティシリウム萎凋病抵抗性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または自然発病による被害の程度により評価
3	菌核病抵抗性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	茎の罹病と枯死株の発生程度による評点（全国）、暖地では3～4月、寒冷地では4～5月に調査、株元の菌核を確認
4	再生性	20個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	1番刈後1～3週間後の生長量（暖地では1週間後）
5	春の草勢	20個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	早春の草量の多少、萌芽2週間後に調査
6	夏の草勢	20個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	盛夏期の草量の多少、暖地において8月に調査
7	秋の草勢	20個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	秋の草量の多少、10月以降の刈取り後の再生草量を調査
8	耐倒伏性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	1番草の開花始期における倒伏の程度を評点

作物の種類		アルファルファ		468		2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	モザイク病抵抗性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	葉の黄色または緑のあせた斑点またはモザイクの発生程度による評点、1番刈直後に調査
2	アブラムシ抵抗性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	茎への虫の付着程度と草の萎縮程度の観察評点
3	雪腐黒色小粒菌核病抵抗性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	茎葉の罹病と枯死株の発生程度による評点
4	カメムシ抵抗性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	芽及び子実の被害程度の評点（特に採種栽培において）、イチモンジカメムシ（暖地）6～10月調査、メクラカメムシ（全国）6・7月調査
5	耐湿性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	低湿草地または転換畑等の多湿地での梅雨期及び梅雨明け時の生長量の多少、葉色等の観察評点
6	耐酸性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	pH5.0以下の土壌における生育量の評点
7	越夏性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	初秋における枯死率、再生茎率、葉枯れ程度から総合的に評点
8	越冬性	20個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	早春における枯死率、再生茎率、草勢等から総合的に評点
9	耐病性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	発病が見られたとき、罹病株率または被害により判定(病名を付記)
10	耐虫性	20個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または自然発生による被害の程度により評価(害虫名を付記)

作物の種類		アルファルファ		468	3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	生草収量（春季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										春季（～5月）刈取草について、刈取りの1区面積は2㎡以上
2	乾物率（春季）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										春季（～5月）刈取草について、生草サンプル300g70℃、48時間以上、恒量になるまで通風乾燥後秤量
3	乾物収量（春季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）										春季（～5月）刈取草について、（生草収量×乾物率）により算出
4	生草収量（夏季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										夏季（6～8月）刈取草について、春季と同様にして測定
5	乾物率（夏季）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										夏季（6～8月）刈取草について、春季と同様にして測定
6	乾物収量（夏季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）										夏季（6～8月）刈取草について、春季と同様にして算出
7	生草収量（秋季）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして測定
8	乾物率（秋季）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして測定
9	乾物収量（秋季）	2区	算出	kg/a（小数第1位を四捨五入）										秋季（9月～）刈取草について、春季と同様にして算出

作物の種類		アルファルファ		468	3次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	葉部比率	2区3反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									各番草について生草(20g)の葉と茎を分離後、乾燥して秤量し、葉部重/全重で算出	
2	乾物消化率	2区3反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									消化試験または酵素法による(乾物中%)	
3	粗たん白質	2区3反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									ケルダール法または近赤外分析による(乾物中%)	
4	ADF	2区3反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									酸性デタージェント-アセトン洗浄(乾物中%)	
5	NDF	2区3反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									中性デタージェント-アセトン洗浄(乾物中%)	
6	ADL	2区3反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									酸性デタージェントリグニンとして定量(乾物中%)	
7	単少糖	2区3反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									アルコールで抽出、フェノール硫酸法で定量(乾物中%)	
8	サポニン	2区3反復	測定	% (小数第3位を四捨五入)									エタノール抽出、薄層クロマトグラフィによる分離定量(乾物中ppm)	
9	永續性	2区2反復	観察・測定		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	年合計乾物重及び各年最終刈取り後の欠株率の年次推移より判定
10	1さや種子数	20個体	測定	粒/さや (小数第2位を四捨五入)									完熟サヤ1個当たりの種子数、1個当たり10サヤ調査	
11	採種性	2区2反復	測定	g/m ² (小数第1位を四捨五入)									1m ² 以上から採種し精選した種子重	
12	採食性	2区2反復	観察・測定		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	放牧または自由採食試験による採食量により評価